

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-604
研究課題名	術後患者における非侵襲的陽圧換気（NPPV）使用状況の調査研究
研究期間	西暦 2014 年 3 月（倫理委員会承認後）～ 2014 年 10 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録内の記録、）
上記材料の採取期間	西暦 2008 年 1 月～ 2013 年 12 月
意義、目的	<p>東北大学病院集中治療部において、術後患者に対して様々な理由から呼吸のサポートを行う機会があるが、その場合は非侵襲的陽圧換気（Non invasive positive pressure ventilation, 以下 NPPV）を使用することが多い。集中治療部に NPPV を導入してから約 10 年が経過したが、今までその使用状況や治療成績を評価したことはなかった。そこで、術後患者に対して NPPV を使用した症例数や、離脱に至るまでの呼吸に関するパラメータ、転帰がどのようになっているかを調査することで、集中治療部における NPPV による呼吸管理がどのように行われているかを把握する必要があると考えた。</p> <p>本研究は、NPPV 管理についての有効性や安全性について後ろ向き調査を行うことが目的である。</p>
方法	<p>東北大学病院集中治療部において、ICU 部門電子記録により 2008 年 1 月から 2013 年 12 月の間に人工呼吸管理を受けた患者のうち、術後に NPPV を使用し人工呼吸療法を受けた患者を算出する。対象患者について以下の項目の調査を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者背景 ①年齢 ②性別 ③診療科 ④術式 ⑤診断名 2) NPPV 使用状況 ①NPPV 装着時間 ②NPPV 装着・離脱勤務帯（日勤帯、準夜勤帯、深夜勤帯に分ける）③気管挿管から抜管との関係 ④装着までの時間 NPPV 導入時の鎮静の有無、使用薬品 ⑤NPPV 装着理由 ⑥NPPV 換気モード（導入時、離脱前） 3) 呼吸に関するパラメータ（装着前、導入直後、離脱前、離脱後）①P_aO_2/F_iO_2 ratio ②呼吸回数 ③Rapid Shallow Breath Index ④血液ガス 4) 治療成績 ①離脱した理由、離脱に関わった主な職種（離脱を判断した職種：集中治療医、主治医、看護師など） ②転帰 ③集中治療室滞在日数 <p>データは匿名化处理を施し、個人が特定できないようにする。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>東北大学病院集中治療部 齋藤 浩二 工藤 淳 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL:022-717-7691 FAX:022-717-7721</p>